

こんな活動です

# ふるさとの命とふれあう「葉山川学習」 -人與人、人と自然とのつながりを学ぶ-

滋賀県草津市	●活動名 笠縫東学区地域協働合校推進協議会	●関係する学校名 草津市立笠縫東小学校
--------	--------------------------	------------------------

協働活動開始年度	平成10年度	関係学校数	1校	のべ学級数	23学級	のべ児童・生徒数	578人
活動区分	学校支援活動	地域課題解決学習	-				
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数 1人				
学校運営協議会	指定・設置日	ボランティアの数	延べ登録人数	企業・NPO等との連携	無		
参考URL	<a href="http://www.kasanuihigashi-p.sk.ed.jp/">http://www.kasanuihigashi-p.sk.ed.jp/</a>						

●連絡先 草津市教育委員会事務局 生涯学習課 ☎077-561-2427



●活動の概要・経緯  
平成17年度より、地域の自然とふれあう体験を重視した「環境学習」を、1年生から6年生までの全学年で行ってきた。学校の横を流れる「葉山川」を基点としての学習であることから「葉山川学習」と名付け児童や保護者に定着している。開始当初より地域の市民団体「草津塾」のメンバーと連携することにより体験活動の充実を図ってきたが、近年では、「川原まちづくりの会」からの協力も得て、ますます充実・発展しているところである。  
また、各学年・学級の「葉山川学習」の成果は、学区の「地域ふれあい東まつり」における「ふるさと葉山川博物館」という学習発表の場で地域住民や保護者にむけて発信し、ともに地域の環境問題などについて考える場になっている。

## ●活動の特徴・工夫

### 【地域学校協働活動としての特徴的な取組】

- ①「葉山川学習」: 地域の自然や事象を学習の題材とし、地域の人材の協力とサポートにより、学習がさらに充実・発展している。
- ②「地域ふれあい東まつり」: 「ふるさと葉山川博物館」の開設で「葉山川学習」の成果について地域住民と子どもたちが交流。
- ③「東っ子旬会」: 学級代表の俳句の全学年分を展示し、全校児童・全職員・保護者・地域住民などが投票して優秀句を決める。
- ④「下校パトロール」: PTAやまちづくりの各種団体による子どもたちの下校見守りパトロール。
- ⑤「米作り体験」: 地域の人々とともに田植えから、稲刈り、収穫感謝集会までを行う。

### 【実施に当たっての工夫】

「葉山川学習」の充実とスムーズな推進を図るために、「地域協働合校推進協議会」会長と地域の学習ボランティア（「草津塾」「川原まちづくりの会」）や保護者代表、市の環境課担当、地域コーディネーター、学校の管理職をはじめとする関係職員が、年に2回程度の会議をもち意見を交わし合っている。それぞれの学年の学習を行う前には、それに関わる地域の学習ボランティアと学校側とで打合せを行っている。地域担当教員や地域コーディネーターは、各活動の準備をしたり活動に同行したりしながら、学習ボランティアと学校とのスムーズな連携に努めている。  
また、「ふるさと葉山川博物館」での学習発表の感想を地域の人たちに書いてもらい、誉めてもらうことで子どもたちの自尊感情向上につながっている。

## ●地域学校協働活動を実施しての効果・成果

地域の葉山川を基点とした地域の自然や生きものを学習素材としているので、子どもたちが地域の自然に愛着を感じ、「ふるさと」を大切に思う気持ちが育つ。また、活動の中で学習ボランティア（「草津塾」「川原まちづくりの会」など）とふれあい、地域の人たちのすこさや優しさを感じ、大人への憧れをもつ。地域の学習ボランティアからは、子どもたちの学びを支えるために、下調べをしたり学んだりすることで生き甲斐ができたという話を聞く。さらに、葉山川学習を通して顔見知りになり、地域で出会ったときも声を掛け合う関係になった子どもがおり、元気をもらおうとのこと。子どもの通学路や地域での安心・安全にもつながる効果である。

## ●その他

○米作り体験・・・地域の方に、もみを発芽させて苗を育てる工程から体験活動が始まる。時間や手間はかかるが環境を考えた米作りへのこだわりを知ることで、苦労や工夫を理解し、環境問題への関心を高める活動となっている。



「まちづくり朝のあいさつ運動」による「朝のあいさつ運動」の各種団体



「葉山川学習」により、安心・安全な生活を支える地域生活者の活動調査